

令和8年度 千厩高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～「居心地のよい学校」づくり～

千厩高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 時間外在校等時間が月80時間以上の職員
R5年度:0人、R6年度:0人、R7年度:0人 (目標が達成できている現状)
- ◆ 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を除く)が年間360時間以上の職員の割合 R6年度:13% R7年度30.6% (目標が達成されなかった)
- ◆ 年間年次取得80時間未満の職員の割合
R6年:14% R7年度:12%(5人が取得可能時間数の半分取得不可)

【定性的現状】

- 教職員の意識
 - ・終了時刻を意識せず、時間外勤務は避けられないと認識している面がある。
 - ・これまで実施してきた業務を全て継続しなければならないと考えている。
- 管理職のマネジメント
 - ・業務の見直しと削減の推進
(簡易起案、会議時間短縮、朝会の情報共有 等)
 - ・年度途中でも変更可能、改善を重ねる。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 時間外在校等時間が月80時間以上の職員ゼロ
- 時間外在校等時間が年間360時間以上の職員ゼロ(部活動含む)
- 年間年次取得80時間未満の職員ゼロ

【目指す姿】

- 職員が、「居心地のよい学校」と感じながら働いている。
- 職員一人ひとりがやりがいを感じながら業務に取り組んでいる。
- フェア精神とユーモアあふれる笑顔の多い職場となっている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	・管理職が個々の職員の健康状態や働き方を把握・観察し、積極的に声を掛け、メンタル相談に応じたり、休暇を促したりします。 ・時間外在校等時間が1日2時間以内とすることを心がけるように教職員に周知します。
(2)	学校における業務改善の推進	・適切な教育課程および教育活動について検討し、シンプルで骨太の業務を柱に据えた、働きやすい環境を整えます。 ・管理職が積極的に業務改善案を提示します(職員会議等で)。 ・前例にとらわれず、無理なくよりよい実践を追求します。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	・教員が本来すべき業務について再確認し、それ以外の業務を整理・削減します。 ・勤務時間外や休日の部活動については、計画的かつ効率的に短時間活動を推進します。
令和8年度重点取組事項		・令和8年度から、時間外在校等時間を1日2時間以内にするをこころがけさせ、18時50分には全員の退勤を目指します。

4 アクションプランの周知方法

- ・プランを学校のHPに掲載するとともに、朝会や会議等を活用して教職員にも周知します。
- ・PTA総会や研修会、メール、面会を通じて、地域の方々や保護者に対してプランの内容を説明します。